

# 国語国文学会だより



No. 45

日本文学科卒業生の会

2011. 9

## 国語国文学会 春の総会・研究発表会報告

平成二十三年度春の総会・研究発表会を五月二十六日（木）、百年館低層棟二〇六教室にて開催しました。

### ◆第一部 総会

(1) 国語国文学会会長挨拶

平館英子先生

(2) 奨学金授与

佐山記念奨学金

学部四年次 大原智美氏

日本女子大学日本文学科賞・奨励賞

院博士課程前期二年次 松本亜佐子氏

学部四年次 足立祐美氏

学部四年次 金美善氏

上村悦子奨学金

院博士課程前期二年次 伊達舞氏

茅野蕭々・雅子記念奨学金

院博士課程後期三年次 佐藤麻衣子氏

(3) 国語国文学会委員長挨拶・役員紹介

（学生の会・卒業生の会）

(4) 平成二十二年活動・決算報告

(5) 平成二十三年活動計画案・予算案・監査選出

(4)(5)については、学生、卒業生より各々報告説明を行い、各案件とも審議後承認

(6) 自主ゼミ発足（学生の会・卒業生の会）、承認

◆第二部 活動報告と研究発表

交換留学生紹介及び挨拶

学部四年 ボウス・キャロライン氏（ウェルズリー・カレッジ）  
ユン・ソラ氏（梨花女子大学）

### 秋季大会・公開講演会のご案内

▼日時 平成二十三年十二月三日（土）  
十三時半～十六時半（予定）

▼場所 百年館低層棟二〇七教室（予定）

▼総会

▼公開講演会

「生きていた宮廷女房達

——平安朝から昭和初期へ」 岩佐美代子氏

☆講師略歴

岩佐美代子

一九二六年生まれ。国文学者。法学者・穂積重遠の娘で、渋沢栄一の血を引く。四五年、女子学習院高等科卒業。六二年、国文学研究を志す。国立国会図書館非常勤職員、立教大学非常勤講師を経て、八二年、鶴見大学助教授。八五年、教授。九七年、定年退職。二〇〇一年に『光厳院御集全釈』で読売文学賞受賞。ほか著作多数。

▼講演

『浄瑠璃御前物語』の原風景

本学教授 福田安典先生

▼懇親会

講演会終了後、ウィミンにて（予定）  
会費三千円（学生千五百円）（予定）

\* 研究発表会

四日 十時～十二時

発表者募集

詳細は四面参照

▼報告

活動報告

・「中古自主ゼミ活動報告」

向原あかね氏

・「皇女研究会活動報告」

柳澤理恵子氏

▼研究発表

・「延慶本『平家物語』に見る平重衡往生譚」石

澤侑子氏（新制六十一回生）

・「真偽疑問文に対する否定応答の分類―「いいえ」の有無と話し手の意図を基準として―」吉

田史沙氏（院博士課程前期修了四十九回生）

平成二十二年度卒業生の会活動報告

(1) 総務

・回生委員会・常任委員会の招集

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十六日

(木)

(2) 企画

・自主ゼミの活動

皇女研究会・古代中世文化論ないし芸術論

・文学散歩

十月二十一日（木）

目白キャンパス周辺の散策

・秋季大会の開催

十二月四日（土）

研究発表会・総会・講演会・懇親会

(3) 会計

・会費納入の確認

・収支・運営・備品の完備など

・名簿作成・発送（十一月）

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

四十二号（秋の大会報告号 四月）

四十三号（春の大会報告号 九月）

・はがき通信 四月（春の総会案内）

・はがき通信 十一月（秋季大会案内）

「たより」に同封

平成二十三年卒業生の会活動計画

(1) 総務

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十六日

(木)

(2) 企画

・自主ゼミの設立

皇女研究会（国史を読む）

・秋季大会の開催

研究発表会・総会・講演会・懇親会

・文学散歩の実施予定

(3) 会計

・会費納入への協力依頼

・活動充実のための備品の整備・購入

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

秋の大会報告号 四十四号（四月）

| 日本女子大学国語国文学会・卒業生の会<br>平成22年度決算（平成23.5.26）<br>【収入の部】（単位：円） |         |         |           |
|-----------------------------------------------------------|---------|---------|-----------|
| 項目                                                        | 予算（a）   | 決算（b）   | 増減（b）－（a） |
| 前年度繰越金                                                    | 95,406  | 95,406  | 0         |
| 会費                                                        | 500,000 | 528,784 | △28,784   |
| 利子                                                        | 35      | 68      | △33       |
| 計                                                         | 595,441 | 624,258 | △28,817   |
| 【支出の部】                                                    |         |         |           |
| 項目                                                        | 予算（a）   | 決算（b）   | 増減（b）－（a） |
| 通信費                                                       | 170,000 | 185,440 | 15,440    |
| 文具費                                                       | 20,000  | 0       | △20,000   |
| コピー代                                                      | 25,000  | 8,600   | △16,400   |
| 会報印刷費                                                     | 80,000  | 88,200  | 8,200     |
| 名簿作成費                                                     | 60,000  | 0       | △60,000   |
| 委員会活動費                                                    | 39,000  | 30,402  | △8,598    |
| ・委員会費                                                     | 6,000   | 2,402   | △3,598    |
| ・交通費                                                      | 28,000  | 28,000  | 0         |
| ・行事費                                                      | 5,000   | 0       | △5,000    |
| ゼミ費                                                       | 20,000  | 10,000  | △10,000   |
| 秋季大会費                                                     | 80,000  | 74,170  | △5,830    |
| 慶弔費                                                       | 3,000   | 3,000   | 0         |
| パソコン関係費                                                   | 50,000  | 39,440  | △10,560   |
| 予備費                                                       | 48,441  | 2,000   | △46,441   |
| 計                                                         | 595,441 | 441,252 | △150,189  |
| 収入の計 支出の計 23年度へ繰り越し<br>624,258 － 441,252 ＝ <u>183,006</u> |         |         |           |
| 会計                                                        | 津田英子    | 斎藤雅代    |           |
| 監査                                                        | 斎藤令子    | 児玉久美子   |           |

※原本同一で押印済み

春の大会報告号・秋の大会案内号

四十五号（九月）

・はがき通信 十一月

平成二十三年常任委員

総務 立川和子（新1） 関根緑（44）

岩切匡子（新4） 金石教子（新12）

藤木直実（院31）

企画 永井幸子（新1） 大平妙子（新24）

平山静（新34）

会計 津田英子（新6） 斉藤雅代（新19）

編集 遠間倫世（新54） 鈴木ちよ（新56）

本年度の会計監査は児玉久美子さん（旧46）、斉藤令子さん（新6）です。

平成二十三年研究サークル

\* 皇女研究会（皇女総覧平安朝篇の作成）

不定期 土曜日 午前十時半

大学図書館共同研究室

・柳澤理恵子 Ⅷ〇四五（八四一）六五二五

○『国文目録』第五十号ができました。ご希望の方は葉書で左記までお申し込みください。

〒一一二・八六八一 文京区目白台二・八・一

日本女子大学日本文学科研究室『国文目録』係

代金は、冊子到着後に払い込んでください。

（送料別 千四百円）

国文目録第五十号（田中功教授退任記念号）

田中功教授略歴ならびに著述目録

公立図書館サービスと情報通信技術の適用

| 日本女子大学国語国文学会・卒業生の会<br>平成23年度予算（案）（平成23.5.26）<br>【収入の部】（単位：円） |         |
|--------------------------------------------------------------|---------|
| 項目                                                           | 予算      |
| 前年度繰り越し金                                                     | 183,006 |
| 会費                                                           | 500,000 |
| 利子                                                           | 50      |
| 計                                                            | 683,056 |
| 【支出の部】                                                       |         |
| 項目                                                           | 予算      |
| 通信費                                                          | 200,000 |
| 文具費                                                          | 40,000  |
| コピー代                                                         | 20,000  |
| 会報印刷費                                                        | 90,000  |
| 名簿作成費                                                        | 90,000  |
| 委員会活動費                                                       | 47,000  |
| ・委員会費                                                        | 9,000   |
| ・交通費                                                         | 28,000  |
| ・行事費                                                         | 10,000  |
| ゼミ費                                                          | 20,000  |
| 秋季大会費                                                        | 80,000  |
| 慶弔費                                                          | 5,000   |
| パソコン関係費                                                      | 50,000  |
| 予備費                                                          | 41,056  |
| 計                                                            | 683,056 |

欧米の録音アーカイブズ

― 初期日本語録音資料所蔵機関を中心に ―

science における図書館の役割

― ラフカディオ・ハーンの A Living God の位置

をめぐって ―

研究助成機関のオープンアクセス（OA）ポリシー

各国の状況

多様化する公立図書館の管理運営

― 委託導入の効果と今後の展望 ―

複合施設と図書館

第11号

源氏物語の万葉享受一例

― 「木幡の里」と「木幡の山」 ―

『今とるかへばや』の〈家〉への志向

― 親子間の〈愛情〉描写から ―

大谷康晴

「家庭」をめぐるジェンダー・ポリティクス

― 「家庭」と文学をめぐる言説編成 ―

平林たい子『殴る』― 闘う女の苦しみ ―

第一期『スタイル』刊行の戦略

斎藤茂吉『寒雲』の戦争歌

― メディアが短歌に与えた影響 ―

「空城計」はなぜ成立したのか

― コーパスを使用した受身文調査

― 受動化の意味による分類から ―

日本人と韓国人のあいづち比較

― あいづちの頻度、タイミング、機能について ―

（書評・紹介）（彙報）

研究室だより

○今年度は坂本清恵先生（日本語学）が、一年間の研修に出られました。

○昨年度、秋学期からサバティカルをとられていらっ  
しゃった倉田宏子先生（近代文学）がご帰任されま  
した。

○他の先生方は昨年と変わりありません。

○今年度の先生方です。

平館英子先生（上代文学）

高野晴代先生（中古文学）

石井倫子先生（中世文学）

福田安典先生（近世文学）

源 五郎先生（近代文学）

倉田宏子先生（近代文学）

清水康行先生（日本語学）

谷中信一先生（中国思想史）

大谷康晴先生（図書館学）

江田すみれ先生（日本語教育学）

田辺和子先生（留学生教育）

○研究室には、昨年度と同じく助教の鈴木美穂さん、  
助手の白石美鈴さんが常勤で詰めています。

○非常勤助手は、昨年度からの宮本祐規子さんに加  
え、ご退職された鴨川都美さんの後任に、今年度よ  
り小林梓さんをお願いしています。

○真夏の恒例となった「国語科教員の会」が、七月三  
十日（土）に開かれました。講演・懇談会・名刺交  
換会の三部構成で行われ、卒業生の先生方と教員免  
許取得を希望している学生が多数参加して、午後中  
を使って行われました。ご講演は辻田久美子先生  
（新三十四回生、千葉県立東葛飾高等学校教諭）が、  
「県立高校で国語を教えること」と題してお話し下さ  
り、それを受けての活発な質疑応答が行われました。

また懇談会では多くの先生方の教育活動体験を賜り、  
教師を目指す学生達への貴重なアドバイスをいただ  
きました。

○十二月八日（木）には「言語の身体性―謳う・語  
る・話す―」と題し、文学部学術交流企画によるシ  
ンポジウムを開催致します。

○国語国文学会の本年度の担当は、源先生、倉田先  
生と小林さんです。

#### ▼文学散歩

回を重ねるごとに、文学者ゆかりの地はおおかた巡  
り終え、都内近郊には余す場所も少なくなって思案  
の末、この秋は鶯の鳴く名所と言われた鶯谷周辺の  
根岸界隈を訪ねることにしました。昨今文学散歩に  
同行する方がとみに減少していますが、お誘い合わ  
せ多数のご参加をお待ちしています。

コース ①子規庵（正岡子規終焉の地）↓②書道博  
物館（中村不折創設・特別展「呉昌碩展」）↓③  
酒井抱一旧居跡（画家・俳諧に優れる）↓④永稱  
寺（抱一の俳書など所蔵）↓⑤笹乃雪（豆腐料理  
の老舗）で食事↓解散

・日時 十月二十七日（木）午前十時～十五時頃  
・集合場所 JR山手線鶯谷駅北口改札  
・費用 約三千円（見学科・昼食代）  
・申込み・問い合わせ 永井幸子（新1）  
・電話・FAX 〇三（五九七〇）二〇四一  
・締切り 十月二十日（木）

#### ◆研究発表会 発表者募集

・日 時 平成二十三年十二月三日（土）  
・場 所 香雪館一〇二教室  
・発表時間 三十分、質疑応答十分  
・応募資格 本学国語国文学会の会員であること  
・応募方法 論題に四百字以内の発表要旨を添えて  
文書で申し込むこと  
・応募先 日本文学科研究室内「国語国文学会  
秋季大会研究発表者募集係」宛  
・締切り 平成二十三年十月三十日（日）必着  
・選考方法 国語国文学会において選考を行い、選  
考結果は後日、個別に通知いたします。  
〈お知らせ〉Ⅱ会則の一部変更についてⅡ  
平成二十二年十二月四日の国語国文学会卒業生の  
会秋季大会において、左記の提案がなされ可決さ  
れました。それは会則の付則の部分で、線を引い  
た個所が新しく加えられました。  
2、会費は前納する。なお本人の事情による場合  
については返却しない。  
3、名誉会員は会費を納めないものとする。  
4、本会則は平成二十二年十二月四日から施行す  
る。

以上

二〇一一年九月一日

発行・日本女子大学日本文学科  
国語国文学会卒業生の会  
〒二二・八六八一 東京都文京区目白台二・八・一  
日本女子大学 日本文学科内